（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	はぐはぐ			
○保護者評価実施期間	R7　年　12　月　27　日	～	R8　年　1　月　31　日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	12家庭	（回答者数）	12家庭
○従業者評価実施期間	R8　年　2　月　1　日	～	R8　年　2　月　28　日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	8	（回答者数）	8
○事業者向け自己評価表作成日	R8　年　3　月　1　日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員のチームワークがよく、その都度情報を共有し、その後に支援内容などの意見を出し合っている。意見はどの職員からもまんべんなく出ることが多く、解決策などもいろいろな方向から意見が出る	チームワークが鍵となるので、職員間の問題が起こらないよう職員同士の交流会や相談をできる環境を作っている	新しい指導員が入ってきても、その指導員が馴染めるように環境作り、相談しやすいように、定期的に管理者が面談を行う
2	今年度は、全体的に社会性を中心に活動をしてきました。その1つに公共施設での地域との関りや他のデイサービスとの交流では、職員以外との交流もあり、社会のルールも感じてもらえたと思います	児童、1人1人が楽しく経験ができるよう、児童の特徴や興味を知ることで支援の内容も充実でき、支援の方向性も大切にしています。	児童にも指導員にも、負担のない交流の機会の充実、社会のルールの体験を多く取り入れていきたい
3			

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	家族との情報共有はできているが、ペアレントトレーニングなど機会がない	指導員の研修時に家族も研修に参加できる機会を作りたい	家族が参加できる研修の機会を作る
2	学校との情報交換の会議をできている児童と下校時間などの共有しかできていない児童がいる	すべての児童の情報共有ができていない	学校との情報共有の会議を提案し、学校での課題点やはぐはぐでの支援内容の共有により学校とはぐはぐが同じ方向を向くことで児童への支援がより良いものとなる
3			